

真宗本廟奉仕上山についてのご案内(参加者用)

このたび、真宗本廟奉仕の上山にあたり、あらかじめご了解いただきたい点について以下のとおりご案内いたします。

また、新型コロナウイルス感染症感染予防対策を実施していますので、様々な面でご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力の程よろしくをお願いいたします。

皆さまのご上山を、職員一同心よりお待ちしております。

上山を機に、
ぜひ帰敬式を受式ください。

■入館にあたって

①冥加金

- ・ **大人**：13,000円（※学生を除く15歳以上）
学生・高校生：9,500円 **小中学生**：6,500円
- ・ お米1.2kg（8合）又は米代800円（できる限りお米をお持ちください。）

②帰敬式を受式される方

- ・ **21歳以上**：10,000円 **20歳以下**：5,000円 ※受式当日の年齢

③記念写真を希望される方

- ・ 1枚750円

■入館中の諸注意

- ・ 本廟奉仕中の外出はご遠慮いただいております
- ・ 真宗本廟内での飲酒は固くお断りしております

■新型コロナウイルス感染症の主な予防対策について

- ・ 全館空調により24時間換気しております。
- ・ 全館を通し、光触媒（光エネルギーによってあらゆる雑菌やウイルスを99.9%無力化）を塗布しております。
- ・ 体調がすぐれない場合は抗原検査を受けていただくことがあります。また、必要に応じて病院にお連れいたします。
- ・ 日程中のマスクの着用は基本的に任意とします。

■携行品について

- 念珠・『真宗大谷派勤行集』・筆記具・清掃のできる服装・寝間着・洗面用具（タオル・歯ブラシ等）・持薬・健康保険証（コピー不可）・ハンカチ・コップ・その他必要なもの
- ・ 肩衣・『同朋手帳』をお持ちの方はご持参ください。
 - ・ リンスインシャンプー、ボディソープ、ドライヤーは用意しています。
 - ・ 飲み物の自動販売機がありますが、1万円札と5千円札はご使用いただけませんので、予め千円札や硬貨をご用意ください。

■その他

- ・ 冥加金、米代、帰敬式礼金、写真代は引率責任者にて取りまとめいただいております。
- ・ 食事のアレルギーについては、必ず事前に引率責任者に申告ください。入館後に申告いただくと十分な対応ができない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・ お米や荷物は同朋会館宛に事前にご送付いただけますが、余裕をもってお送りください。また、発送先には必ず「同朋会館」と建物名を明記ください。
- ・ 和敬堂では日用品（歯ブラシ・タバコ等）の取扱いはございませんのでご了承ください。

—同朋会運動と真宗本廟奉仕—

1951（昭和26）年、“念仏総長”と呼ばれた^{あけがらすはや}暁鳥敏宗務総長は、一人の念仏者が誕生することを願い、真宗本廟への清掃奉仕を全国に呼びかけました。

そして、1956（昭和31）年、^{みやたにほうがん}宮谷法含宗務総長の「宗門白書」が発表され、1961（昭和36）年に親鸞聖人七百回御遠忌^{ごえんき}がつとまりました。それをご縁として翌1962（昭和37）年、「真宗門徒一人もなし」という、教団の現状の厳しい自己批判をふまえ、^{くろべしんゆう}訓覇信雄宗務総長により教団あげての信仰運動である「真宗同朋会運動」が始まりました。

この運動の中心のひとつが真宗本廟奉仕であり、^{どうぼうかいかん}同朋会館はその真宗本廟奉仕のために全国の同朋が集う場として開かれています。

本廟奉仕は、親鸞聖人がお亡くなりになった後、聖人の教えをうけた門徒が、ありし日の聖人のご恩に報いるために、^{ごしんねい}御真影を安置し、おりおりに集い、聖人が明らかにされた教えにふれ、寄り合い、談合されたことをもととしております。

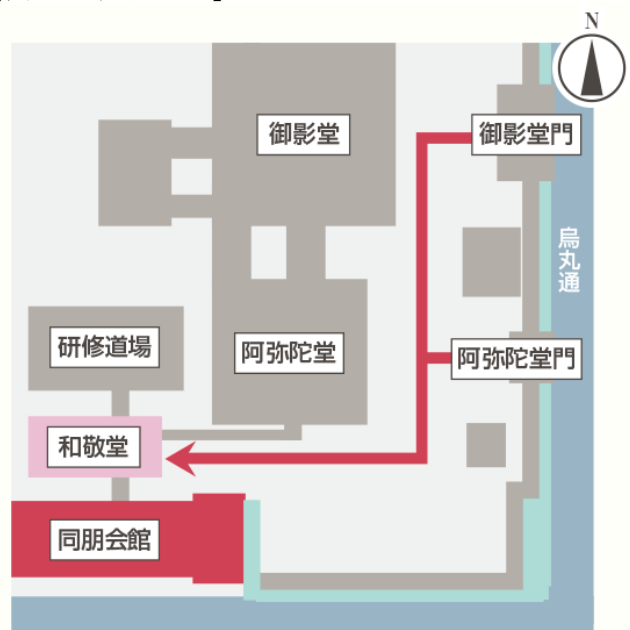
現代のさまざまな問題を抱える私たちも、宗祖親鸞聖人の御真影の前に身を置き、その教えにあうことを通じて、共に語り合い、人間として生きる意味を尋ねていくという、その同朋の歴史に参加してまいりたいと思います。

東本願寺（同朋会館・和敬堂）への行き方

【周辺地図】



【門から和敬堂へ】



[京都駅より徒歩10分程度]

- 京都駅烏丸中央口
京都タワーに向かって北側へ
- 京都駅地下改札口
東本願寺方面出口へ

宗祖親鸞聖人

御誕生

立教開宗

850th
800th

東本願寺 同朋会館（研修部）

〒600-8308 京都府京都市下京区新シ町121

TEL: 075-371-9185 FAX: 075-371-9201

南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう